

1. 公的医療保険とその特徴

医療保険	共済組合	組合健保	協会けんぽ	国保組合	市町村国保	後期高齢者医療制度
主な加入者	公務員等	大企業のサラリーマン	中小企業のサラリーマン	自営業者、年金生活者、非正規雇用者等		75歳以上
加入者数	約900万人	約3,000万人	約3,500万人	約3,800万人		約1,600万人
保険者数	85	約1,400	1	約1,900		47
特徴	国家・地方公務員、一部の独立行政法人職員、日本郵政グループ社員、私立学校教職員。公的年金制度や他の福利厚生制度を併せ持っている。	企業や企業グループ(単一組合)、同種同業の企業(総合組合)、一部の地方自治体(都市けんぽ)で構成される健康保険組合が運営。	健康保険組合を持たない企業の従業員で構成される。2008年(平成20年)9月までは社会保険庁が政府管掌健康保険(政管健保)として運営していたが、現在は全国健康保険協会が運営。	自営業であっても同種同業のものが連合して国民健康保険組合を作ることが法律上認められている。	すべての個人事業主、協会管掌健保の任意適用事業所とする認可を受けていない個人事業主の従業員、無職者(任意継続被保険者と後期高齢者医療確保法に該当する者及び生活保護を受けているものを除く)が加入する。市町村と東京都特別区が運営。	75歳以上の者と後期高齢者医療広域連合が認定した65歳以上の障害者を対象とする医療保険制度(ただし、生活保護受給者を除く)であり、2008年(平成20年)4月1日からスタートした。都道府県ごとの全市町村で構成される後期高齢者医療広域連合が運営。
宮崎県内の主な保険者	<ul style="list-style-type: none"> ○地方職員共済組合 ○公立学校共済組合 ○宮崎県市町村職員共済組合 ○警察共済組合 宮崎県支部 	<ul style="list-style-type: none"> ○旭化成健康保険組合 ○宮崎銀行健康保険組合 ○シーガイアフェニックス健康保険組合 ○センコー健康保険組合 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国健康保険協会 宮崎支部 	<ul style="list-style-type: none"> ○宮崎県医師国保健康保険組合 ○宮崎県歯科医師国保健康保険組合 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内26市町村 	<ul style="list-style-type: none"> ○宮崎県後期高齢者医療広域連合 

※出典元:厚生労働省HP 我が国の医療保険制度について・ウィキペディア

3. カバー率

本集計に係るデータのカバー率は下表のとおりとなっており、年齢区分ごと及び各医療保険者ごとに相違がある点には留意が必要です。

A. 宮崎県の人口に対するデータ対象のカバー率

年齢区分	県人口(a)	被保険者数(b)	カバー率(b/a)
40～44歳	71,044	48,801	68.7%
45～49歳	64,589	43,213	66.9%
50～54歳	62,582	45,847	73.3%
55～59歳	72,248	54,270	75.1%
60～64歳	83,346	65,814	79.0%
65～69歳	95,724	78,807	82.3%
70～74歳	61,115	54,215	88.7%
75～79歳	60,312	58,376	96.8%
80～84歳	53,518	52,372	97.9%
85～89歳	36,357	35,339	97.2%
90歳以上	22,404	21,691	96.8%
合計	683,239	558,745	81.8%

※県人口は、平成28年10月1日現在による。また、被保険者数は、平成28年3月31日現在による。

B. 分析対象データ率

対象データ数	228,836
分析対象データ率	41.0%

※今回の提供データについては、被保険者のみとなっており、被扶養者は含まれておりません。

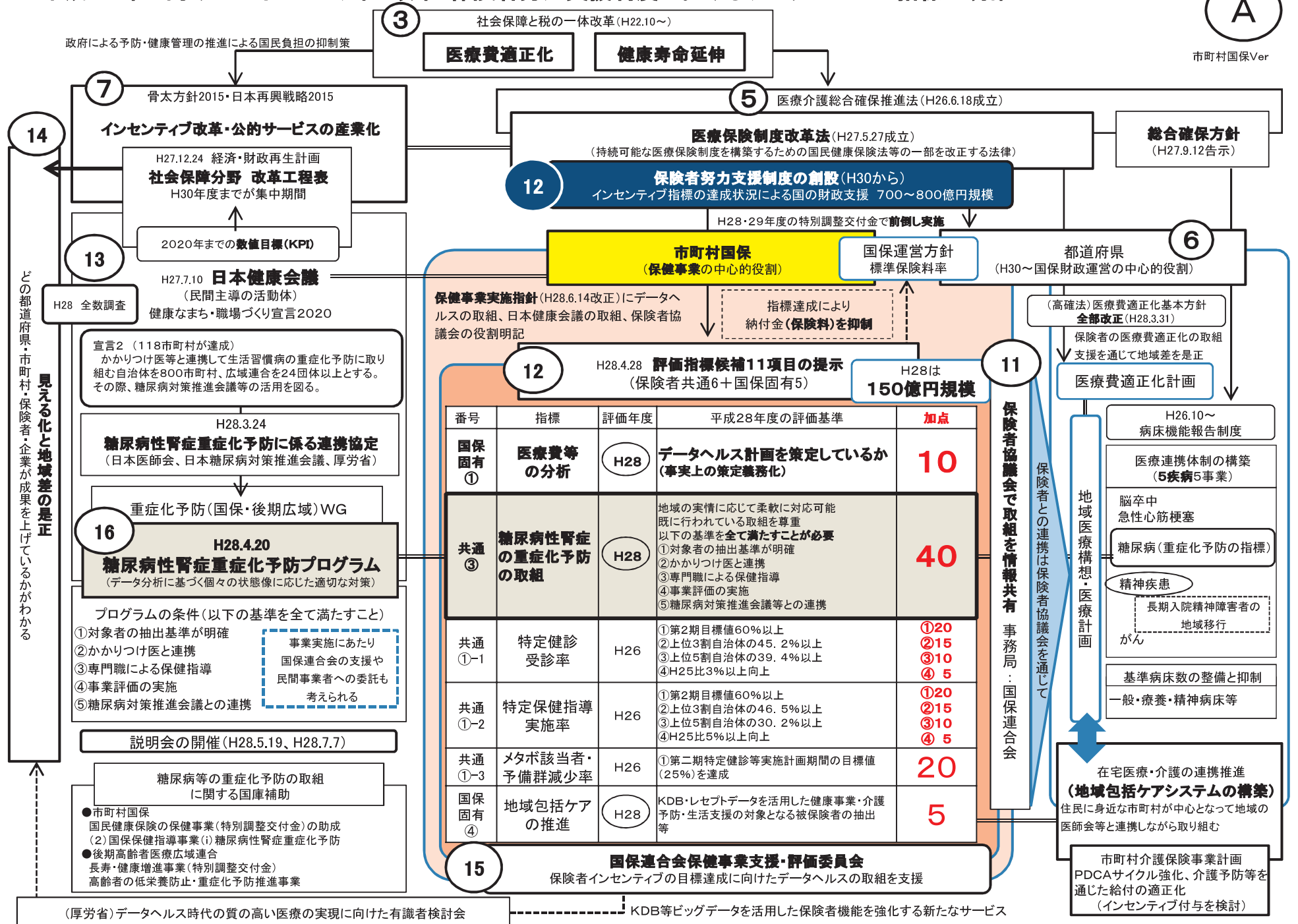
4. 国の流れと国の糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて

平成30年に向けてのインセンティブ改革-保険者努力支援制度におけるデータヘルスの指標が明確に

H29.11



市町村国保Ver

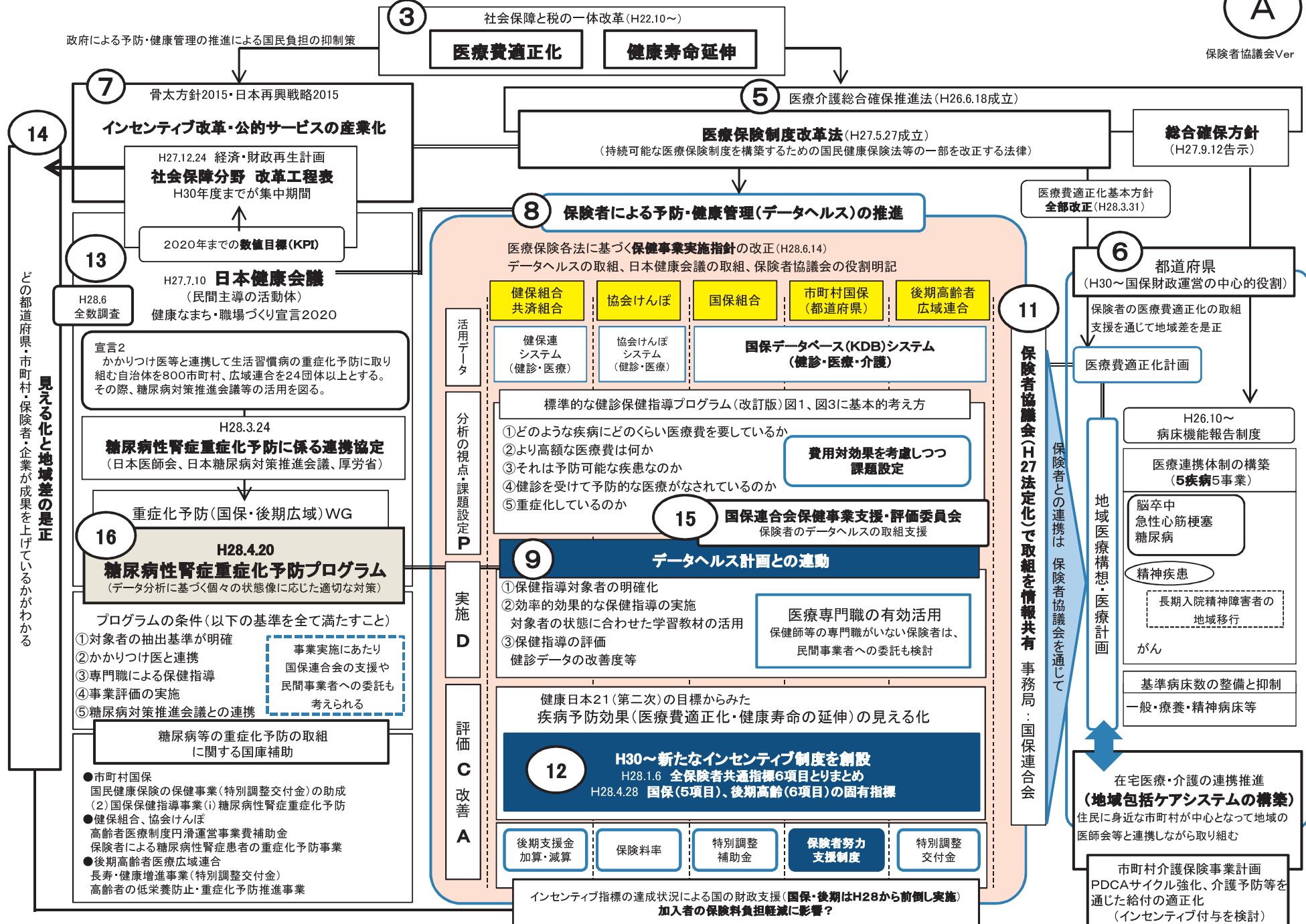


平成30年に向けてのインセンティブ改革-医療保険者による予防・健康管理(データヘルス)の指標が明確に

H28.6.29



保険者協議会 Ver



糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて

1. 趣旨

- 呉市等の先行的取組を全国に広げていくためには、**各自治体と医療関係者が協働・連携できる体制の整備**が必要。
- そのためには、埼玉県取組例のように、**都道府県レベルで、県庁等が県医師会等の医療関係団体と協力して重症化予防プログラムを作成**し、県内の市町村に広げる取組を進めることが効果的。
- そのような取組を国レベルでも支援する観点から、**日本医師会・日本糖尿病対策推進会議・厚生労働省の三者で、糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定**したもの（それに先立ち本年3月24日に連携協定締結）。

2. 基本的考え方

(目的)

- 重症化リスクの高い**医療機関未受診者等に対する受診勧奨・保健指導**を行い治療につなげるとともに、**通院患者のうち重症化リスクの高い者に対して主治医の判断で対象者を選定して保健指導を行い、人工透析等への移行を防止**する。

(性格)

- 先行する取組の全国展開を目指し、取組の考え方や取組例を示すもの。各地域における取組内容については**地域の実情に応じ柔軟に対応が可能**であり、現在**既に行われている取組を尊重**。

(留意点)

- **後期高齢者**については**年齢層を考慮した対象者選定基準**を設定することが必要。

3. 関係者の役割

※例示であり地域の実情に応じた取組を尊重

(市町村)

- 地域における**課題の分析**（被保険者の疾病構造や健康問題などを分析）
- **対策の立案**（取り組みの優先順位等を考慮して立案、地域の医師会等の関係団体と協議）
- 対策の**実施**、実施状況の**評価**

(都道府県)

- **市町村の事業実施状況のフォロー**、都道府県レベルで**医師会や糖尿病対策推進会議等と取組状況の共有、対応策等について議論、連携協定の締結、糖尿病性腎症重症化予防プログラムの策定**

3. 関係者の役割（続き）

（後期高齢者医療広域連合）

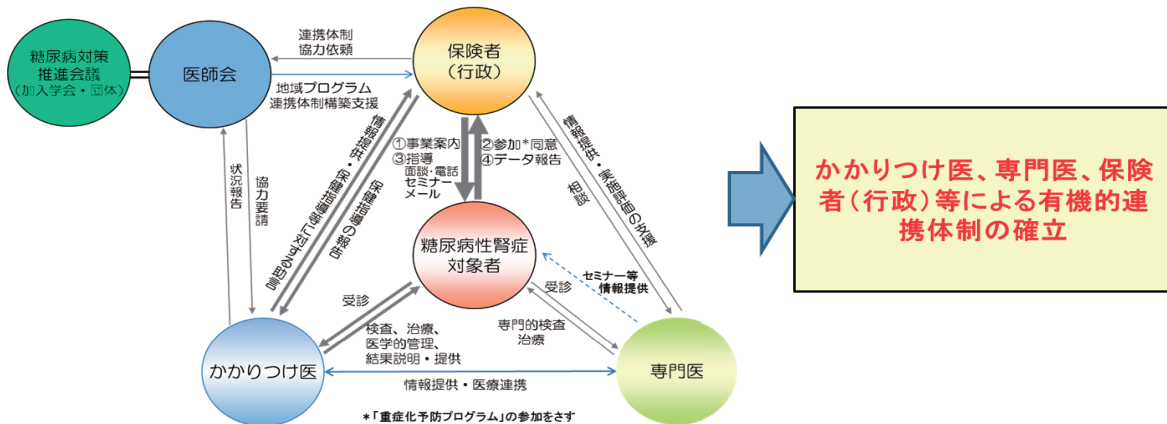
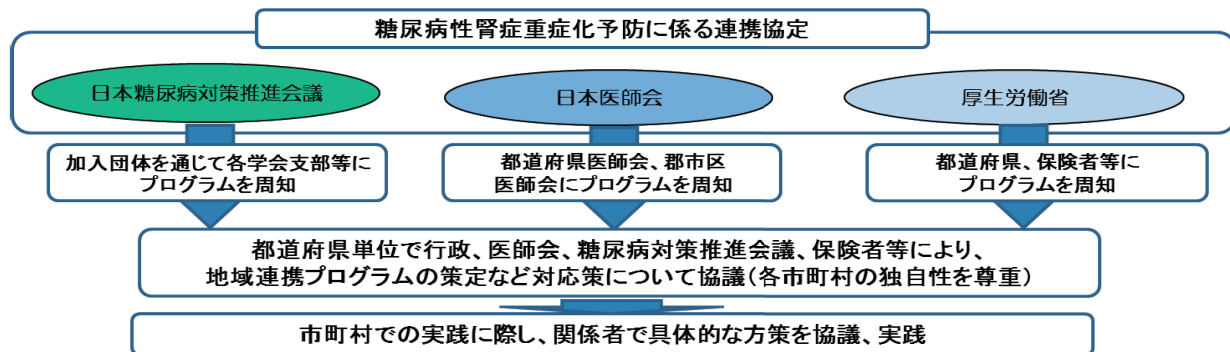
- 広域連合は市町村と都道府県の両者の役割を担うが、**特に実施面では、市町村との連携が必要不可欠**

（地域における医師会等）

- 都道府県医師会等の関係団体は、**郡市区医師会等に対して、国・都道府県における動向等を周知し、必要に応じ助言**
- 都道府県医師会等や郡市区医師会等は、都道府県や市町村が取組を行う場合には、**会員等に対する周知、かかりつけ医と専門医等との連携強化など、必要な協力を努める**

（都道府県糖尿病対策推進会議）

- 国・都道府県の動向等について**構成団体に周知、医学的・科学的観点からの助言など、自治体の取組に協力するよう努める**
- **地域の住民や患者への啓発、医療従事者への研修に努める**



4. 対象者選定

※取組内容については地域の実情に応じ柔軟に対応

- ① **健診データ・レセプトデータ**等を活用したハイリスク者の抽出
 - － 日本糖尿病学会、日本腎臓学会のガイドラインに基づく基準を設定
- ② **医療機関における糖尿病治療中の者からの抽出**
 - － 生活習慣改善が困難な方・治療を中断しがちな患者等から医師が判断
- ③ **治療中断かつ健診未受診者**の抽出
 - － 過去に糖尿病治療歴があるものの、最近1年間に健診受診歴やレセプトにおける糖尿病受療歴がない者等

5. 介入方法

※取組内容については地域の実情に応じ柔軟に対応

- ① **受診勧奨**：手紙送付、電話、個別面談、戸別訪問等
 - － 対象者の状況に応じ、本人への関わり方の濃淡をつける
 - － 必要に応じて受診後のフォローも行う
- ② **保健指導**：電話等による指導、個別面談、訪問指導、集団指導等
 - － 健診データ等を用いて自身の健康状態を理解してもらい、生活習慣改善につなげることを目標とする

6. かかりつけ医や専門医等との連携

- 都道府県、市町村において、**あらかじめ医師会や糖尿病対策推進会議等と十分協議**の上、推進体制を構築。**郡市医師会**は各地域での推進体制について**自治体と協力**。
- **かかりつけ医**は、**対象者の病状を把握し、本人に説明**するとともに、**保健指導上の留意点を保健指導の実施者に伝える**ことが求められる。
- 必要に応じて**かかりつけ医と専門医の連携**、**医科歯科連携**ができる体制をとることが望ましい。
- 臨床における検査値（血圧、血糖、腎機能等）を把握するに当たっては、**糖尿病連携手帳等を活用**し、本人ならびに連携機関と情報を共有できるようにすることが望ましい。

7. 評価

- ストラクチャー（構造）、プロセス（過程）、アウトプット（事業実施量）、アウトカム（結果）の各段階を意識した評価を行う必要。また、中長期的な費用対効果の観点からの評価も行う必要。
- 事業の実施状況の評価等に基づき、今後の事業の取組を見直すなど、**PDCAサイクル**を回すことが重要。